

# Place M Film Festival 2019

写真と映像の境界を超えて!

12.16 (mon) ~ 25 (wed)

## 公募部門 ノミネート作品

**L-1** 12月21日(土)15:00~  
5作品84分

### コンペティション1

#### 太宰橋

今尾徳／16ミリ（デジタル版）／20分／2017

彩音は、文豪・太宰治もよく通つたという跨線橋の側に住んでいた。ある日、その橋で友人に出会う。しかし、その傍らにいたのはかつての恋人・武志だった…。過去と惜別してゆく一人の女の物語。Linz International Short Film Festival（オーストリア）、福井映画祭 12TH 短編部門オフィシャルセレクション。オイド映画祭監督賞受賞。



#### ひかりのいと

高野美奈子／デジタル／13分／2008

トンネル、湖のほとり、伝説の丘、海…。少女は歩き続ける。闇の中に隠された、孤独の真実を知るために。そして、辿り着いた太陽のひかり。父の面影を追って、旅をする少女の成長物語。



#### さよならは私が覗く

宮川真一／8ミリ（デジタル版）／12分／2018

最終ロットのシングル8フィルムを使い、画と音を別々のカメラで撮影、録音し、2台の映写機で上映する8ミリ映画。8ミリの不自由さを敢えて曝け出す試みだが、今回は8ミリフィルムがデジタルメディアに乗り移った“デジタル憑依版”として上映する。



#### 蜃気楼

山岸信行／デジタル／20分／2019

小説家の沢井は、妻や友人たちと連れだって鶴沼海岸の蜃気楼見物を楽しんでいた。しかし、日常の亀裂から侵入してくるかのような様々な錯覚や幻覚を見たり、不吉な出来事に遭遇する。芥川龍之介の晩年の幻想世界を詩情豊かに映画化。



#### 多日想果

大門嵩／デジタル／19分／2019

台湾に憧れて留学したタカシ。日本では味わえなかつた楽しい日々。そんなある日、屋台で働くフェンに恋をする。しかし、自分の気持ちを率直に伝えることができないまま時は流れ、恋は無情な形で幕を閉じることになる…。



審査員：瀬戸正人（写真家）

授賞式：12月25日（水）19:00～

大賞：映像施設レンタル 2020年末まで3回分の使用権利



**L-2** 12月22日(日)15:00~  
5作品82分

### コンペティション2

#### 理解できないことを理解する

橋本祥吾／デジタル／19分／2013

「理解できない」ことを「理解する」のか、「理解できないこと」を「理解する」のか。私にとって最も理解しやすい手段で彼らを再構築したことと、果たしてそれは「理解」と呼べるのか、客観視するために制作した。



#### 納涼アニメ電球鳥賀祭

にいやなおゆき／8ミリ（デジタル版）／6分／1993

電球が消えた。主人公は電球を探す旅に出る。そして遭遇する地下世界の鳥賀祭。自由連想的に制作されたシネポエム。8ミリ原盤は焼失のため、デジタル上映。



#### カマキリの夜

中川究矢／デジタル／22分／2018

戦後72年。反戦二部作東京編。西村喜廣主演のファンタスティックホラー。戦時中の不発弾を隠し持っている男（西）は区の職員から道路拡張工事の為に家の強制退去を命じられている。

祖父を戦争で亡くしている西は戦争へ導くものへの怒りと区の職員への怒りが同化して…。驚愕のラストを見逃すな！



#### A.I. generator

渡部彩子／デジタル／12分／2019

2030年、東京。A.I.ロボットが人間をサポートする時代。煩わしい人間関係、やりとりから遠ざかり、面倒な事が淘汰されていく中で新しい問題に直面する。そんな日常にA.I.が浸透した近未来を描くSF短編映画。



#### Dances de travers

小田浩之／デジタル／23分／2018

「先輩から聞いた話なんだけど、昔この寄宿学校で事故があったんだ…」生徒たちは寮の一室にあつまり怪談話の中である事件について語りだした…。ある学園の悲劇の物語。



International Independent Film Awards 銀賞受賞作品。